

平成 29 年度学校評価報告書

北海道下川商業高等学校

1 本年度の重点目標

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てる。</li> <li>・自らを律する心を育て、礼節を重んずる生活習慣の確立を図る。</li> <li>・自らを鍛え、健康で思いやりのある社会人の資質を育てる。</li> </ul> |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価の結果の概要と今後の改善方針

| 評価項目 | 自己評価の結果   | 学校関係者評価の結果   |
|------|---|--|
| 学校経営 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営の効率化を図るため、学年と分掌間の連携に努めた。</li> <li>・学校通信の月刊化、ホームページの更新頻度を増やした結果、閲覧数は増加傾向にある。</li> </ul>  | 生徒募集にも繋がるよう早い時期から中学生や保護者、中学校の先生に情報提供が必要である。            |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域の学校理解を深めるため、ホームページ及び学校通信の内容の充実・改善に努める。</li> <li>・ホームページの閲覧数増加に向けた取り組みの充実を図る。</li> <li>・様々な媒体を活用し学校情報の積極的な発信に努める。</li> </ul> |  |
| 教科指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の基礎的・基本的な学力の定着を図るため、計画的な朝学習と公開授業を実施し、学力の向上に努めた。</li> </ul>  | 学力保証の観点から、学習環境の整備をより一層図るよう期待している。また、家庭学習の定着率向上に努めて欲しい。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の定着・向上のため、本年度導入したスケジュール手帳を活用し家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>・生徒が「わかる」「積極的に参加する」「更に学びを深める」授業を目指し、効果的な研修に努め、より一層の授業改善に努める。</li> </ul>      |  |
| 生徒指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は落ち着いた学校生活を送っている。また、悩みを抱える生徒への相談体制づくりが必要である。</li> <li>・部活動や生徒会活動が活発に行われた。</li> </ul>  | 生徒の状況は大変落ち着いている。今後も継続した指導と生徒の安全確保に向けた指導を期待している。        |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・悩み事や相談事を抱えている生徒が、気軽に相談できる組織的な体制づくりに努める。</li> <li>・学校の活性化を図るため、部活動や生徒会活動の充実に努める。</li> </ul>  |  |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者、地域の期待に応えるキャリア教育と充実した進路指導体制づくりに努めた。</li> </ul>  | 今後も進路決定率の維持に努め離職者を減らす取り組みに期待している。                      |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と連携し、生徒の適性や発達段階に応じた系統的な進路指導の充実を図る。</li> <li>・進路だよりや進路説明会などで有効な進路情報の積極的な提供に努める。</li> </ul>                                      |  |